

学年
通信

魂知輪

令和6年4月30日
第 10 号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

応援してもらえるチーム (集団) になりたい

土曜日に、豊岡総合体育館で、女子バレーのオープン戦がありました。結果は3位。昨年敗れた村岡中学校に勝ち切ることができました。この結果を『やった!』と捉える人もいれば、『悔しい!』と捉える人もいるかもしれません。私は『やった! 4割、悔しい! 6割』だと、思っています。嬉しいという気持ちが前に出てくる中で、一緒に悔しさが、滲み出てくるのです。それは、豊岡南中学校に完敗したことが原因だとは全く思いません。相手は強かったということは、紛れもない事実。点が取れなかったとか、したかったプレーが出来なかったことにモヤモヤしているという訳ではありません。

やはり、小代中の生徒全員につけてほしい力、そして持っていてほしい気持ち。それは、『謙虚』であること、『感謝』をすることです。このことが伝えたいので、女子の部活の話を通して、男子にも読んでもらおうと思いました。

バレーボールとは、ball (ボール) を volley (地面につく前に打ち返す) 競技です。要するに、自分のコートにボールが落ちない限り負けることはありません。バレーボールは、チームメイトが協力して、相手のコートの地面にボールを落とせるように、どこにボールを打てばいいか、どこにトスを上げればいいのか、どこにレシーブしたボールを持っていけばいいかを考えながらプレーしなければいけません。

ボールをボレーすることが出来ていても、相手の気持ちをきちんとボレーできているかな? お互いに思っていることを、適切なポイントにレシーブできているのかな? ということが疑問に残ります。試合会場に着いた時の挨拶の仕方、試合後に色々な人からかけてもらった労いの言葉に対する反応。急いでいたから、疲れていたから、緊張していたから、というのは理由になりません。言い訳といいます。そのような所が成長しないと、強い相手に勝っていくことは難しいのではないかと思います。

応援してもらえるのが当たり前、声援を送ってもらえる、拍手をしてもらえることが当たり前ではありません。どうか、『謙虚』という言葉の意味を調べて、自分自身で理解し、『感謝』の気持ちを表すことが出来るクラスになってほしいと思います。



試合後の記念撮影。いい顔で写っていますね!



それぞれバラバラの数?
7776分の1の奇跡が!



ディズニー予行演習!

勘違いを生む言葉

「別に…」 「大丈夫」 「どっちでも」 「いいよ」
自分がしている会話を思い返してみてください。相手が聴いて「?」になるようなことはありませんか? 他の人が聴いていて「?」になるようなことはありませんか?

『1度口から出しちゃった言葉は、もう元には戻せねーんだぞ… 言葉は刃物なんだ。使い方を間違えると、やっかいな凶器になる… 言葉のすれ違いで一生の友達を失うこともあるんだ…。』(名探偵コナン 映画 沈黙の15分より)

私の大好きなコナンのセリフを引用しました。自分は大丈夫、ではなく、一度自分の事だと思って振り返ってみるのも大切です。生徒も、先生も、家族も、みんな。

担任の目

